

# 健全化判断比率 & 資金不足比率

前ページの平成21年度決算をもとに算出した市の健全化判断比率（左表）および資金不足比率（下表）を公表します。

伊豆の国市の健全化判断比率および資金不足比率において、基準を越える数値はありません。

## 健全化判断比率（平成21年度決算）

判断比率項目	伊豆の国市の判断比率 (前年度判断比率)	早期健全化基準
実質赤字比率	—* (—)	13.14%
連結実質赤字比率	—* (—)	18.14%
実質公債費比率	12.7% (13.4%)	25.0%
将来負担比率	77.1% (81.5%)	350.0%

- 実質赤字比率…一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示します。
- 連結実質赤字比率…すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体の運営の深刻度を示します。
- 実質公債費比率…借金の返済額やこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示します。
- 将来負担比率…地方公共団体の一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。
- 早期健全化基準…健全化判断比率のうちひとつでも早期健全化基準以上になった場合は、財政健全化計画を定めなければなりません。

\*赤字額や資金不足額がなく、比率が算出されない場合は『—』で記載しています。

問合せ 財政課 ☎055-948-1414

## 資金不足比率（平成21年度決算）

公営企業会計の名称	伊豆の国市の資金不足比率	経営健全化基準
上水道事業会計	—*	20.0%
簡易水道等事業特別会計	—*	20.0%
下水道事業特別会計	—*	20.0%

- 資金不足比率…公営企業ごとの資金不足額を、事業規模に対して指標化し、経営状況の深刻度を示します。
- 経営健全化基準…資金不足比率が経営健全化基準以上の公営企業会計は、経営健全化計画を定めなければなりません。

# 年末調整 & 青色決算説明会

平成22年分の年末調整・青色決算等の説明会を開催します。

とき 11月25日（木）

10時～11時30分：年末調整等説明会  
(法人、白色申告個人)

13時30分～15時：青色決算等説明会  
(青色申告個人)

ところ アクシスカつらぎ多目的ホール  
郵送された青色決算・年末調整等の書類

\*関係書類が不足している場合は、会場または税務署でお受け取りください。



問合せ 三島税務署

☎055(987)6711

- 自動音声案内『2』を選択
- ↓年末調整等説明会に関する相談は法人課税部門
- ↓青色決算等説明会に関する相談は個人課税部門

## PHOTO ぎやらりー



▼今年100歳の鈴木さだ子さん(谷戸)

▲今年100歳の菊地つぎさん(天野)

▲今年103歳の古屋かほるさん(浮橋)

### 9/15 長生きの秘訣は…? 敬老の日 市長長者訪問

敬老の日を前に、市長が市内の長寿者3人を訪問しました。

今年100歳になる菊地つぎさんは「長生きの秘訣は、ぜいたくしないで何でも食べること。洗濯物を2階に干す日課もいい運動」と語り、同じく100歳になる鈴木さだ子さんは「家族8人みんな仲良く、いつも孫たちがおばあちゃん行ってきます、ただいまって声をかけてくれる」と語り、今年103歳になる古屋かほるさんも「朝ごはんはしっかりと食べる。毎日欠かさずフルーツとヨーグルトを食べる。体操もみんなと同じにやる。」と語りました。これからも秘訣を実践して、もっともっと長生きしてください。

### 9/17 県出品の10作品決定 明るい選挙啓発ポスター

伊豆の国市明るい選挙推進協議会(重山蔵男会長)は、あやめ会館で、明るい選挙啓発ポスターコンクールの審査会を行いました。市内小中学校から選出された90作品の中から、次の上位各5点が入選に選ばれ、県コンクールに出品されました。

- 【小学校の部・入選】藤本美柚(長岡南小6年)、伊東優真(同)、渡邊すず(葦山小5年)、伊藤歩惟(葦山南6年)、監物咲音(同)
- 【中学校の部・入選】村松泰斗(大仁中1年)、清水ひなの(同)、浅井政利(同)、杉山なつき(長岡中3年)、室伏香奈(同)

なお、入選に次ぐ佳作各10点も含めた受賞者の氏名は、市ホームページで公開しています。



厳正な審査によって受賞作品が決定



芸能発表会の様子(右写真)

市民作品展の様子(左写真)

### 9/19・20 私の成果、披露します 第6回伊豆の国市民文化祭

今年の市民文化祭は、初の試みとして、芸能発表会と市民作品展を同じ会場で開催しました。

会場となったアクシスカつらぎでは、2日間にわたって、大ホールで楽器演奏や民謡、合唱、ダンス、武術など計56団体の芸能発表会が行われ、また多目的ホールやギャラリー・ホワイエ、会議室などで絵画、手芸、俳句、華道、フラワーアレンジ、3Dアートなど4部門計67団体・個人の市民作品展が行われました。連日、多くの市民が訪れ、会場狭しと披露された各種団体や個人の一年間の成果に感心しました。



つくった土をプランターに入れて種植える参加者

### 9/26 安全、安心な土づくり プランター栽培体験講座

市の「安全、安心、健康のまちづくり事業」を広く知ってもらおうと、『プランター栽培体験講座』を葦山庁舎で開催しました。講座には、市民53人が参加。「安全で安心な食材を市内で生産し、それを食べて健康になるまち」という事業の主旨の説明と、10月に完成した資源循環センターや堆肥の説明を受けたのち、屋外での実習に入りました。

実習では、講師である有機栽培アドバイザーの和田さんの指導で、土の混ぜ方、プランター植え付けなどを実践。土づくりが完成したところで、サラダ菜、ベビーリーフなどの種を植え、自宅に持ち帰りました。